

平成27年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会議事録

1 日時：平成27年5月29日（金） 午前9時27分～午前10時51分

2 場所：千葉中央コミュニティセンター3階 「調停室」

3 出席者：

(1) 委員

石井 慎一委員（部会長）、善積 康夫委員（副部会長）、谷藤 千香委員

(2) 事務局

(都市局)

河野都市局長

(公園緑地部)

山下部長

(都市総務課)

増田都市局参事兼課長、村上課長補佐、西森主査、中野主任主事

(公園管理課)

竹本課長、中臺主査、長瀬主任主事、林主事

4 議題：

(1) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の年度評価について

(2) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の総合評価について

5 議事の概要：

平成26年度指定管理者評価シート、平成26年度事業計画書、平成26年度事業報告書及び指定管理者財務諸表をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会による評価を受け、当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、改善を要する点及び当該指定管理者の倒産、撤退等のリスクの把握について、都市局指定管理者選定評価委員会から意見を聴取した。

また、指定管理者総合評価シート及び指定管理者総合評価資料をもとに、都市局指定管理者選定評価委員会から現指定管理者の管理業務及び次期指定管理者の選定に向けた意見を聴取した。

(1) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の年度評価について

ア 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

イ 部会の意見

(ア) 維持管理は良好に行われていると認められる。

(イ) 対応可能な意見やニーズに迅速に対応し、管理運営に取り入れていくこと。

(ウ) 一般市民向けのサービスを工夫すること。

(エ) アンケートについては、マリーンズファン以外の方も気軽に回答できるようなものを導入していくこと。

(オ) 高齢者等のバリアフリー対策については、ソフト面での取り組みを検討すること。

(2) 千葉マリスタジアム（QVCマリフィールド）の総合評価について

ア 指定管理者 株式会社千葉ロッテマリーンズ

イ 部会の意見

(ア) 利用者と来場者を分けて把握し、双方へのサービスを実施すること。また、サービスの対象をマリーンズファン以外にも広げていく方策を検討すること。

(イ) 数字では表しにくい市民サービスの向上を選定・評価において考慮していくための方法を検討すること。

(ウ) 利益の還元等をどう考えているかが選定の際に明らかになるよう検討すること。

(エ) モニタリングやサービスの実施にあたっては、対象を明確にした上で行っていくこと。

6 会議経過：

○村上都市総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

只今より、平成27年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催させていただきます。

申し遅れましたが、私は都市総務課課長補佐の村上と申します。どうぞよろしく願いたします。

本日の会議でございますが、3名全ての委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

初めに、開会にあたりまして、河野都市局長からご挨拶申し上げます。

○河野都市局長 都市局長の河野でございます。

本日はお忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃からこの件に限らず、都市行政全般にわたりましていろいろご支援・ご協力いただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。

さて、都市局では、千葉市蘇我球技場など39の有料施設の管理運営にあたって、市民サービスの向上、管理経費の節減を図るため、指定管理者制度を導入しています。本年度は多くの施設で現在の指定管理者の指定期間が最終年度を迎えることとなります。

先日、公園部会を開催いたしましたが、その中で全7施設、それから本日開催するスポーツ部会におきましても、千葉マリスタジアムが指定期間の最終年度となっております。年度評価に加えて、現指定管理者の管理業務の総括のための評価である総合評価を実施し、いただいたご意見を次期指定管理者の選定に反映させていただきたいと思います。

また、千葉マリスタジアムの次期指定管理者を選定するための部会を10月に開催する予定としております。千葉マリスタジアムについては、非公募で次期指定管理者を選定することとしておりますが、委員の皆様には業務内容等の確認をお願いすることとなりますので、そちらにつきましても協力の程よろしく願いたします。

なお、昨年度に指定管理者の選定を行っていただきました蘇我スポーツ公園スポーツ施設につきましては、今年度が現指定管理者にとって管理運営の初年度であることに加え、昨年度までと別の団体が指定管理者となっておりますので、委員の皆様管理運営内容に対してご意見をいただくのは来年度からとさせていただきます。

以上、簡単でございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。よろしく願いたします。

○村上都市総務課長補佐 河野都市局長につきましては、本日、所用がございますので、これもちまして退席とさせていただきます。

○河野都市局長 失礼いたします。よろしくお願いいたします。

(都市局長退席)

○村上都市総務課長補佐 それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。お手元の資料3「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」をご覧ください。

本日の会議は、「1 会議の公開の取扱い」の(1)のとおり、公開としております。

また、議事録につきましては、「2 議事録の確定」の(1)及び「3 部会の会議への準用」のとおり、事務局が作成した案に対する部会長の承認により確定することとなっております。

それでは、議事に入らせていただきます。石井部会長、よろしくお願いいたします。

○石井部会長 では、私が議事進行を務めさせていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

まず初めに、議題(1)「千葉マリスタジアム(QVCマリフィールド)の年度評価」に入ります。

初めに、資料6-1「平成26年度指定管理者評価シート」、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 公園管理課長の竹本でございます。よろしくお願いいたします。座ってご説明させていただきます。

それでは、資料6-1「平成26年度指定管理者評価シート」でございます。

「1 基本情報」。施設名、千葉マリスタジアム(QVCマリフィールド)、指定管理者、株式会社千葉ロッテマリーンズ、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。所管課は公園管理課でございます。

「2 管理運営の実績」。(1)主な実施事業、①指定管理事業といたしまして、施設利用受付業務、施設維持管理業務、清掃業務、保安警備業務、②自主事業といたしまして、飲食物販、施設見学ツアー、広告看板、詳細についてはご覧のとおりでございます。

続きまして、(2)利用状況、①利用者数ですが、平成26年度167万8,368人、対前年度比99.3%でした。続きまして、②稼働率、平成26年度97.4%、対前年度で0.9%の増となっております。

続きまして、(3)収支状況です。①収入実績、指定管理委託料は0円でございます。利用料金が3億4,606万5,000円、計画比が89%です。自主事業が22億8,277万9,000円、計画比が104.6%、合計で26億2,884万4,000円、計画比が102.3%でございます。

続きまして、②支出実績ですが、人件費が3,073万3,000円、計画比が167%、事務費が21万6,000円、計画比が108.1%、管理費が6億477万8,000円、計画比が99.3%、自主事業が14億946万3,000円、計画比が98%、合計で20億4,518万9,000円、計画比が99%でございました。

続きまして、収支実績ですが、5億8,365万5,000円の黒字でございました。

次のページをお願いいたします。

(4)指定管理者が行った処分の件数、(5)市への不服申立て、(6)情報公開の状況につきましては、ご覧のとおりでございます。

続きまして、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。

(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果、①アンケート調査の実施内容。アンケートは、まず利用者アンケートというものと、WEBにより来場者アンケートというものを実施してございます。利用者アンケートにつきましては、4月から3月の間、年間を通してお願いしてございます。WEBアンケートにつきましては、全部で4回実施い

たしました。

続きまして、②調査の結果ですが、利用者アンケートからは、グラウンドコンディションが9割以上の利用者から高評価を得てございます。利用時間、利用料金、利用回数等につきましては、ご覧のとおりでございます。

来場者アンケートにつきましては、1回目として、スコアボードの見やすさを聞いてございますが、そちらは「よく見える・見える」合わせて50%を超える数字でございました。それから、映像画面の大きさにつきましては、半分以上の来場者が小さいと感じている結果でございました。

それから、2回目のアンケートでございますが、照明について聞きましたが、「とても明るい・明るい」を合わせて34.8%、「普通」という回答が52.2%ございました。それから、コンコース照明の満足度ですが、「満足・やや満足」ということで52.8%でございました。

3回目のアンケートでございますが、高齢者に優しい球場かという質問に対して、「やや思わない・思わない」ということで、49%の回答がございました。それから、スロープの設置については、7割以上の方が必要であると感じている結果でございます。

4回目につきましては、音響システムを改修しましたので、そのスピーカーについての評価を聞きましたら、「よく聞こえる・やや聞こえる」の回答が5割、それから「普通」の回答が4割でございました。それから、トイレの改修を数年にわたり続けてきましたが、これにつきましては7割以上が「満足している」というお答えをいただいております。

続きまして、③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応でございます。まず、要望としまして、「スコアボードの画面を大きくしてほしい。」ということがございまして、これにつきましては今年度、スコアボードを改修し、画面の大型化を予定してございます。具体的には、今の2.8倍程度の大きさのものに改修する計画でございます。続きまして、「コンコースのモニターが見にくい、台数が少ない。」というご意見に対しましては、新たに入场ゲートや売店付近などの見やすい位置にモニター103台を設置いたしました。それから、鳥の糞、これは鳩の糞を何とかしてほしいというご意見ですが、これは専門業者に委託し、住みついていた鳩の対策を実施いたしました。それから、4つ目としまして、「4階トイレをきれいにしてほしい。」ということで、これは平成26年度に改修を実施いたしました。

続きまして、(2)市に寄せられた意見、苦情でございます。1件ございました。内容としましては、プロ野球観戦に行きたいが、高齢となり階段を上るのが大変なため改善策をお願いしたい。これに対しましては、高齢者などから要望があった場合は球場スタッフが座席まで案内するようしております。また、階段についてもスタッフが介助しながら案内するようしてございます。平成29年度にスロープ設置に係る実施設計を現段階では計画してございます。

次のページをお願いいたします。

「4 指定管理者による自己評価」です。ここは読み上げさせていただきます。

「フィールド管理については、プロ野球で使用する高いレベルで常時整備を行っており、このことにより一般利用でグラウンドを使用する市民に対し満足度の高い状態で提供している。

施設面においては、2階コンコースの壁面装飾、外野ゲートの床面補修及び球団ロゴのデザイン装飾を施したほか、床洗浄機の導入、鳩糞対策の実施など、一層の美化を推進した。また、客席への新シート導入や臨場感あふれるプレミアムシートへの改築を行った。加えて球場内各所のモニターがブラウン管仕様であったことから、総計103台の液晶モニ

ターを追加設置した。

いずれもプロ野球興行に関わる改善であると同時に、球場全体を快適なものにする取り組みとして指定管理者自らが投資して実施したものであるが、来場者からは好評を得ている。

「ちば夢パスポートプロジェクト」と称する行政と一体となった一般児童の招待活動、そのほか少年野球チーム招待、施設見学ツアー、児童を対象とした教育体験など市民・県民の来場促進を通じて、野球文化の振興活動に取り組んでいる。

来場者向けアンケートについては、プロ野球興行の設問と併せたWEBアンケートとすることで、より多くのサンプリングを獲得している。」

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。

善積委員、お願いします。

○善積委員 管理運営の実績の利用状況のところですけども、利用者数である平成26年度の167万8,368人という数字は、後ろの資料で確認することができますが、稼働率の97.4%が、後ろの資料でいうとどれを使ってこの数字が出てきたのかということと、それから稼働率のところ、平成26年度の実績値は97.4%ですね。25年度は96.5%、24年度も90%を超えていますが、目標値は85%という低い数字に設定されています。この目標値の決め方ですが、実績値を参考にするのであればもう少し高くてもいいのではないかと感じましたが、目標値の決定の仕方はどのようになっているのでしょうか、その2点です。

○竹本公園管理課長 まず、稼働率について高い数字が出ておるのですが、これはフィールドのみではなくて、諸室などを使われた場合でもそれは利用があったということでカウントしてまして、高い数字になっております。

○公園管理課職員 算出につきましては日数をもとに計算してございまして、この資料には載っていないのですが、球場のグラウンドの人工芝を維持するのに必要な保全日を設けています。それを分母から差し引いていますので、この資料には載っていない数字を使わせていただいています。

○善積委員 そうですか。保全日を差し引いたものを分母にして、それからグラウンドとか部屋だとか、その日のうちに何かに使われていれば分子をカウントするということですね。わかりました。

○公園管理課職員 目標値の設定につきましては、基本的には指定管理者が申告してきた目標値を今は使っております。その決め方に関しましては、実績に基づいてもう少し上げてもいいのではないかとご意見なのですが、それに関してはこちらとしても考えていまして、指定管理者との協議をしていながら検討していきたいと思っております。

○善積委員 わかりました。ありがとうございます。

○石井部会長 よろしいでしょうか。谷藤委員から何かありますでしょうか。

○谷藤委員 自主事業のところにある「ちば夢チャンレジパスポート・プロジェクト」が、もう少し詳しくお伺いできればと思います。

○竹本公園管理課長 これは千葉県の教育委員会と連携したプロジェクトで、千葉県内の小学生を対象にQVCマリフィールドにおいてキャリア教育体験プログラムを提供する事業ということでございます。2014年度から実施しております。

具体的な内容としまして、ゲーム運営の裏側ですとか、球場内の施設の見学、それからスタジアムスタッフの体験ということをやっております。

- 谷藤委員 行政と一体となったということは、直接的には県ですか、市ではないのですね。
- 竹本公園管理課長 そうです。この「ちば夢プロジェクト」については千葉県ということですね。
- 谷藤委員 ありがとうございます。
- 石井部会長 善積委員。
- 善積委員 「利用者ニーズ・満足度等の把握」のところのアンケートですが、来場者アンケートは全てWEBでやって、その場では行っていないということですか。
- 竹本公園管理課長 来場者アンケートについてはそうです。WEBだけです。
- 善積委員 それで、4回とられていて、回答者数に結構ばらつきがあります。3回目が一番多くて、実施したのが1月23日から2月8日ということですが、プロ野球ももう終わっています。ここが特に多いのは何でだろうと疑問だったのですが、他にイベントなどがあったということですか。
- 石井部会長 ハーフマラソンじゃないですかね、千葉マリンハーフマラソン。
- 公園管理課職員 サンスポマリンマラソンの時期ではあるのですが、聞いている内容がプロ野球に関する内容なので。
- 増田都市総務課長 ファンクラブの申し込みの始まる時期が2月です。
- 谷藤委員 それは重要なことですね。
- 増田都市総務課長 継続している会員は、その手続を全部ネットで、そのころに受付開始をしています。
- 善積委員 では、それと同時にアンケートをとっているのですか。
- 増田都市総務課長 そうです。だから、球場へよく行っている人、何回か行っている人が行こうと思って見るところにアンケートがある、そういう状態になっているのだとは思いますが。
- 石井部会長 この期間に球場に来た人ということではないのですか。
- 竹本公園管理課長 ではないです。ホームページを閲覧した方が回答できるようになっております。
- 石井部会長 球場に来た人を対象に、この期間にウェブ上でアンケートをとったという意味ですか。
- 増田都市総務課長 そうなことだと思います。基本的に、やってくださいということはないので、その時期に見るとすれば、一番可能性としてはファンクラブの申し込みが多いのかなとは思いますが。
- 善積委員 以上です。
- 石井部会長 よろしいですか。
- 私からなのですが、利用状況の中で利用者数と稼働率がありますが、これは一般利用とそれからプロ野球と分けてはいないのですか。一体としてカウントしているものでしょうか。
- 公園管理課職員 稼働率につきましては、そうです。
- 石井部会長 利用者数も。
- 公園管理課職員 利用者数も、そうです。
- 石井部会長 分けた数字はどこかを見ればわかりますか。
- 公園管理課職員 プロ野球のみを拾い出した数字は載っていないのですが、6-4の34ページに利用者数の内訳がありまして、一般利用とイベントと分けてありまして、イベントの中にプロ野球の利用者数、入場者数が含まれております。イベントの中には、コンサー

トなどの利用も含まれております。

○竹本公園管理課長 ちなみに、プロ野球の入場者数は平成25年度が128万人です。平成26年度が129万5,000人と、その程度がプロ野球です。

○石井部会長 プロ野球で最多だった頃というのは、いつ頃で、どの程度の入場者数ですか。

○竹本公園管理課長 今、手元にある資料ですと、平成20年度からの資料しか無いのですが、平成20年度で160万人でございました。それから、漸次人数が落ちてきているという状況です。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、「1 基本情報」から「4 指定管理者による自己評価」については、以上で終わります。

続きまして、4ページ、「5 市による評価」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 「5 市による評価」でございます。評価は「S」、「仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた」と評価させていただきました。

所見でございます。「フィールドの維持管理状況は、利用者アンケートによる評価も高く、良好であると考えられる。施設の維持管理においては、課題とされる鳩の糞対策を実施するほか、コンコース内の装飾や新たに清掃機を導入するなど、利用者の意見を取り入れた施設の維持管理に努めており、利用者サービスの向上に寄与している。

さらに、平成27年度に千葉市と共同で実施するスコアボードの画面の大型化については、改修に向けた協議を行い、千葉市と協調的に取り組んでいる。

また、昨年度から実施しているWEBアンケートは、約2,500件もの意見を収集しており、また要望事項についても適切に評価した上で対応可能な意見は管理運営に取り入れている点は評価できる。

自主事業についても、収益事業については計画を上回る収入を得ており評価できる。また、その他に施設見学ツアー、児童を対象とした教育体験等の地域貢献活動にも積極的に取り組んでおり、施設管理者でありプロ野球球団であることの利点を生かした活動に取り組んでいる。

仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていたと評価できる。」

履行状況の確認ですが、ご覧の17項目に対して確認させていただきました。そのうち「3」をつけたもの、「3」というのは「仕様、提案を上回る実績・成果があった」ものについて特にご説明させていただきます。

(1) 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、2つ目の「モニタリングの考え方」です。「利用者等アンケートを実施」、これは「3」といたしました。WEBによるアンケートを4回実施し、意見を収集し、またアンケート結果も適切に分析している点でございます。

その下、「指定管理者による自己評価（セルフモニタリング）の実施」、こちらも「3」といたしました。利用者アンケート、来場者アンケートを適切に実施し、実施可能なものは維持管理の中に取り入れている。

続きまして、(2) 市民サービスの向上、「利用者サービスの向上」でございますが、1つ目の「コンコースの美化、鳩の糞対策の実施」、こちらを「3」といたしました。これは、専門業者による鳩糞対策を実施し、また新たに清掃機を導入した結果、作業効率が上がった点を評価しました。それから、コンコースの装飾、これはコンコース内に球団の

装飾を実施し、来場者サービスを向上させた点を評価いたしました。

次のページでございます。

「新規モニターの設置」、こちらも「3」で、利用や要望が多かったコンコース及び入場ゲート付近に新たにモニター103台を設置したことでございます。

続きまして、「地域振興活動の実施」、「ちば夢チャレンジパスポート・プロジェクト」、こちらは先ほどご説明したようなツアーを実施しました。8回で約4,800名の参加がございました。

続きまして、(3)施設の効用の発揮、施設管理能力。3つ目の「プロ野球開催における施設管理能力」でございます。「施設フィールドの維持管理」、こちらはフィールドの維持管理状況は利用者からも好評を得ていることから「3」としてございます。

続きまして、「清掃」ですが、計画に基づき適切に行った。また、清掃機を導入するなど、球場の美化にも積極的に取り組んでいることから、「3」とさせていただきます。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の事務局の報告に対しまして、ご意見等ございましたらご発言をお願いします。

谷藤委員。

○谷藤委員 大きな文句があるわけではないのですが、こんなに良くしていいのかなというのが印象なのです。モニタリングの考え方が「3」、「3」としているのですが、確かにWEBでアンケートを随分とっているということはもちろんありまして、昨年から導入したのでしたよね。それで、WEBでとるといのはいろいろ問題というか、本当に来場しているのかとかいうこともありまして、私も去年お伺いした時には、実際、期間中に自分もアクセスしようと思っていたのですが、忘れてしまひまして逃してしまひましたが、何か期間を区切らずにずっとやってもいいような気もしたり、本当に来場者なのかというところで、例えばですけれども、チケットをQRコードで読み込んで、その場でぱっと答えられるとか、何か時代の変化とか進化とともに工夫がもっとできるのではないかなということが印象です。

それで、実際やれなかったのですが、先ほどのお話もお伺いすると、マリーンズのファンが答えるところに行き着く状況かなとは思うので、もう一工夫して欲しいなという気持ちから考えると、「3」は少し行き過ぎではないかなというのが個人的な意見です。

それから、もう一つ、先ほど「夢チャレンジパスポート・プロジェクト」の話もありましたが、地域振興活動の実施というところは、これ1個の枠組みなのですか。たまたまこれが上がりましたということですか。

○竹本公園管理課長 そういうことです。

○谷藤委員 アンケートのどこかにも、千葉市の施設という印象がないかもしれないというようなコメントがどこかにあったと思うのですが、一般市民というところがなくて、市民に対するサービスがもう少し見えてもいいかなと思ひて、これが一番見えるのかなと思ひたのですが、この手の地域振興活動って、子供対象の趣旨は非常にわかりやすく、重要だと思ひますが、もう少し大人向けのものも欲しいなという希望がありまして、「3」はもう少し頑張つて欲しいなと思ひたりします。

それと、枠組みがどこかわからないのですが、利用者の市民の率が上がったり、来場者が遠くから来ることはいいことだと思ひますが、施設をプレーで利用する市民が増えたらいいのではないかなと思ひまして。これは多分、市の課題かもしれないのですが、市民が使いやすい、例えば利用の優先権とか、割引とか、何かそういうものを今後考えていけ

るといいのかなと思いました。

- 竹本公園管理課長 まず、アンケートについてなのですが、WEBアンケートですけれど、球場内の設備とか施設に関わるものについて質問項目を設定しています。ですので、実際に行ってみないと答えられないようなものであるということで、来場者でないと答えにくいような形をとってあります。

それから、QRコード等につきましては、やはり手軽に回答できるということが一番アンケートで重要な点だと考えましたので、悪意のある方はいるかもしれないのですが、それらを含めて回答しやすいほうがいいということで実施させていただいております。

それから、QVCマリフィールドについてですが、実はあそこの球場があるのが県立幕張海浜公園というところをごさいます、我々も確かに市の球場を設置しているのですが、それは市民というよりも、市民はもちろんなのですが、やはり広く県民の方にご利用いただくということも大前提になっていまして、その中で市民だけを優遇していくことは今後においても難しいという状況でございます。

- 谷藤委員 大人向けの何か魅力は、今回は子供向けの売りだったので。
- 竹本公園管理課長 大人向けですと、QVCの管理運営というよりも、プロ野球のロッテ球団として、もちろんお金のかかるものもあるのでしょうか、様々なサービスを提供している状況です。

- 公園管理課職員 スタジアムツアーは大人の方でも参加できます。

大人向けというのかはわかりませんが、指導者向けの野球教室をやったりとか、そういったことも一環としてやっております。

- 谷藤委員 ありがとうございます。
- 石井部会長 善積委員からは無いでしょうか。
- 善積委員 私は特にありません。
- 石井部会長 では、「5 市による評価」については、以上で終わります。

続きまして、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見または助言などございましたら、よろしくお願いたします。

では、善積委員、お願いします。

- 善積委員 今後は利用者ニーズをいかに迅速に管理運営に取り入れていくかという、そのところをしっかりやっていただけるということが重要だと思っています。

アンケートの中で、高齢者に対する配慮の部分が、あまり高い評価になっていないのですが、このあたりについては何か対応を今後していくという計画などはあるのですか。

- 竹本公園管理課長 29年度にスロープ設置に係る実施設計を今のところ予定しております。
- 善積委員 29年度ですか。分かりました。
- 石井部会長 谷藤委員からは。

- 谷藤委員 先ほども幾つかそこに近いようなことを聞いていたのですが、子供に関わらず何かサービスを工夫して欲しいなと思っています。

アンケートにつきましても、恐らくマリーンズファンの意見をたくさん聞いて、その気持ちは非常にわかるのですが、アウェー側の人にも喜んでもらえるようなものになるのかなと思います。20回以上来た人とか、そういう人たちの意見が多いので、そうではない人たちが気軽に答えられるようなものを導入しつつ、よりよい運営をしていって欲しいなと思います。

- 石井部会長 ありがとうございます。

では、私からですが、市の評価も高いところで、維持管理としては良好だと思われます。

モニタリングについても一応評価できると思いますが、さらに内容等を検討してもらって、ニーズを取り入れて、市と協力して指定管理者でより良いものとして提供していきたいと思えます。

それから、高齢者等のバリアフリー対策についても、平成29年よりも前にできること、ソフト面などであるかと思えますので、そういったところに取り組んでいただくことと、それから一般市民向けのサービスについてもさらに検討していただければと思えます。

○竹本公園管理課長 わかりました。高齢者の方への対応につきましては、今後、球場としてしっかり取り組んでいかなければいけない部分ですので、指定管理者と協議をしつつ、しっかりとやっていきたいと思えます。

○石井部会長 では、「6 都市局指定管理者選定評価委員会の意見」ですが、先ほどいただいた意見も含めて、今の意見を部会の意見といたします。

最後に、資料6-6「指定管理者財務諸表」から見る当該指定管理者の財務状況についてですが、善積委員、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

○善積委員 それでは、少し気づいた点を申し上げたいと思えます。

貸借対照表を見ますと、全体に占める負債の割合が多いということで、これは今年度に限ったことではなくて引き続いてそうですけれど、その点だけを見ると、財務の安全性に問題があるのかなと思えます。

ただ、これは単年度で大幅に改善できるということではないので、長期的に見て少しずつ改善していかないといけないのかなと、そう感じました。

それから、損益計算書では、前年度も当期純損失が計上されていますが、今年度も、当期純損失であり、その金額が増えているということと、それから今年度は特に営業利益ですか、前年度は黒字だったわけですが、今年度はマイナスになっています。この点は注意して改善していかないといけないのかなと思えます。

グループ全体の数字というものは厳密に確認したわけではないですが、多額の純利益が出ているとしたら、全体で見ると、この千葉ロッテマリーンズの純損失は吸収されてしまうのかもしれませんが、ただ、財務諸表を見ると気になりましたので指摘させていただきます。

○石井部会長 ありがとうございます。

では、以上で議題（1）「千葉マリスタジアム（QVCマリスタジアム）の年度評価」を終わります。

続きまして、議題（2）「千葉マリスタジアム（QVCマリスタジアム）の総合評価」に入ります。

初めに、事務局よりご報告をお願いいたします。

○竹本公園管理課長 それでは、資料6-7をお願いいたします。「指定管理者総合評価シート」でございます。

「1 基本情報」につきましては、ご覧のとおりでございます。

「2 総合評価」です。

（1）過年度の管理運営業務に対する評価、1、市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、こちらは「A」とさせていただきました。理由でございますが、「関係法令等の遵守においては、提案・事業計画・管理運営の基準どおりの内容を履行している。また、施設の利用調整においては、千葉ロッテマリーンズのホームスタジアムとしてのグラウンド条件を維持しながら、高校野球、各種イベント利用、一般利用との調整を図り、多くの市民が利用できるように調整を行った。

特に、利用者を対象として実施したアンケートから、いずれの年度においても良好な評

価を得ており、実施可能な要望事項についても管理運営に取り入れている点は評価できる。」

続きまして、2、市民サービスの向上です。こちらは評価を「S」とさせていただきます。理由でございますが、「利用者への支援については、仕様・提案・事業計画どおりの内容を履行している。

特に、利用者サービスの向上については、利用者のニーズに基づき、案内表示の改善、企画シート、モニターの設置、球場の美化への取り組みなど、積極的・継続的に行っており、利用者サービスの向上が図られているものと認められる。

また、平成27年度に千葉市と共同でスコアボードの改修を予定している。」

続きまして、3、施設の効用の発揮、施設管理能力、こちらは評価「A」でございます。理由ですが、「利用促進の方策、管理体制、施設・備品の維持管理については、仕様・提案・事業計画どおりの内容を履行している。

また、自主事業の効果的な実施については、初投げ会や施設見学ツアーなど多くの市民に親しんでもらう機会を提供するほか、プロ野球球団が管理する利点を活かした物販・飲食事業を展開した。

特に、利用者ニーズに基づくスタジアム設備の拡充等の取り組みは、利用者からも高評価を得ている。」

次のページをお願いいたします。

4、管理経費の縮減です。こちらは評価「A」といたしました。理由につきましては、収入・支出については仕様・提案・事業計画どおりの内容を履行している。また、球場内の一部の照明をLED化するなど、経費節減にも積極的に取り組んでいる。

以上の評価を踏まえ、総合として「A」という評価をさせていただきました。

次に、6-8をお願いいたします。総合評価の資料でございます。

「2 管理運営状況」、(2)利用状況をご覧ください。利用者数ですが、平成23年度が173万2,750人、それから平成24年度が172万7,756人、平成25年度が168万9,783人、平成26年度が167万8,368人で行いました。

続きまして、②稼働率でございます。平成23年度が92.5%、平成24年度が93.6%、平成25年度が96.5%、平成26年度が97.4%で行いました。

「3 利用者意見への対応状況」は、ご覧のとおりでございます。

次のページをお願いいたします。

「4 収支状況」です。(1)過年度の収入・支出状況です。表の一番下をご覧ください。収支ですが、平成23年度が3億5,740万8,000円の黒字、平成24年度が4億8,282万8,000円の黒字、平成25年度が4億9,819万2,000円の黒字、平成26年度が5億8,365万5,000円の黒字、過年度の合計が19億2,208万2,000円の黒字でございます。

続きまして、(2)管理経費の縮減に係る取り組みですが、「利用者ニーズを踏まえた自主事業の実施や各種媒体を通じた積極的な施設のPRを行うなど、利用率向上の取り組みによる収入の増加を図るとともに、一部の照明をLED化するなど支出の削減に努めている」。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、只今の指定管理者総合評価シート案の「2 総合評価」について審議いたします。

只今の事務局のご報告に対しまして、ご意見等ございましたらご発言をお願いいたします。

谷藤委員。

○谷藤委員 先ほどのところでお話しするべきだったか、ここでお話しするべきだったか、少しわからないところもあるのですが、利用者という表現を整理したほうが良いような気がします。プレーで使う利用者と、それからこの中では入場者とか来場者とか言われていると思うのですが、見に来られる方とではサービスのあり方というか、中身というのか、違うように思えます。それで、ここを出てきているのは来場者、入場者、見る人向けの評価が多いので、でも、いわゆる利用するほうの、プレーするほうの利用者に対しても一緒にされているので、何か枠組み的に今後変わってきてもいいのかなと、数字の捉え方もプレーする利用者が入場者という、施設の特質上それもありがたなという気がしました。

そう考えると、利用者のニーズとか、先ほどのところのアンケートでは、時間とかを工夫して欲しいとか、使い方に関しての要望は出ていて、それが指定管理者で出来ることかどうかはわからないのですが、そういう対応も必要なのかなという気がしました。

全体的に、「S」がついているところで、施設管理に関してはすごく評価できると思うのですが、サービスの面では利用者と来場者その両方を評価できれば「S」といって納得できます。自主事業に関しては確かに来場して食べ物屋さんが充実していると便利で、それはサービスの一つとは思いますが、現実的にはそれはすごく収入源になっていて、自主事業をするということは収入が得られるということなのかということころは、市でも考えたほうが良いかなという気がします。そこで収入を得ても市には入らないのですよね。

○竹本公園管理課長 売店の売り上げは入らないです。広告の一部還元していただいています。

○谷藤委員 その2つともが上がったということであればすごく良いのですが、売店で収入を得て、もちろん行った人が便利にはなるのですが、自主事業が収入を安定させるということだけになってしまうのは少し残念な気がするので、スポーツ振興側からすると、なので、「S」でいいのかなとは思いました。

○石井部会長 その点に関連する質問なのですが、収入状況の中で見ていくと、収支で毎年3億円、4億円、5億円とプラスになっているわけですが、4年間で19億2,200万円のプラスになっていますが、このプラス部分はどこに行くのか。全部ロッテマリーンズに行くだけなのか、市に何かがあるのか、その辺りを少し教えていただければと思います。

○竹本公園管理課長 その前に、まず谷藤先生のご意見に対してなのですが、確かに利用者と来場者というんですか、観客の区分けについては、やはり我々としてもそういう整理は必要だろうという課題認識は持っています。ただ、そのカウントがきちんとできるかどうかということもありますので、その辺りは何かしらその違いが出せるようなカウントの仕方等について、指定管理者と協議していきたいと考えております。

それから、このQVCマリフィールドの場合、委託料が0円ということでやっています、やはり指定管理者としても収入を上げなければいけない部分がある。当然黒字にはなっているのですが、それも営業努力の結果で黒字になっている部分がありますので、もちろんおいしいものを食べていただく、それで喜んでいただくとともに、ある程度適正な利益を上げていただくのはやむを得ないのかなと。ただ、利益が先に行ってしまうのでは、それは困るので、やはりメニューですとか、そういうものの工夫については十分配慮していくように指導していきたいと思えます。

それから、部会長がおっしゃられた収支の黒字部分につきましては、全て千葉ロッテマリーンズに行く形で、こちらには入ってきません。我々の施設を使用している使用料がありますので、そういったものを差し引いた収支になっております。

○石井部会長 ただ、一部その利益の中から球場の改修を指定管理者が行ったりとか、そう

いう部分での支出はされているのですということにはなるのですね。

- 竹本公園管理課長 そうですね。モニターの交換等は全部球団側でやっています。
- 石井部会長 そういった支出を引いた後の利益になるのですか。
- 公園管理課職員 モニターの改修等は別になります。なので、この中からモニターの改修でしたり、新たにシートを改修したりとか、そういったところに使っていただいています。
- 石井部会長 その指定管理者が上げた利益の中から、どの程度が市の施設に対して還元されているかとかいうことは、どこかでわかるのでしょうか。今おっしゃられたモニターだとかシートだとか、どの程度のものをとということとは。
- 公園管理課職員 そういった改修の費用等はこちらでも把握はしているのですが、この年度事業報告書の中には出てきてはいないです。
- 石井部会長 利益を上げた中からどの程度市に対して還元されていますよということの評価は、どういうところで見ればよろしいということになるのでしょうか。
- 竹本公園管理課長 市民サービスの向上の部分に、モニターですとか施設の改善が含まれております。
- 石井部会長 この収支状況だけ見てしまうと、指定管理者がすごく儲けてしまっているのではないかと非常に誤解されてしまう。いろいろその中からマリスタジアムの施設を良くするために出していますよと、そういうものもわかったほうがより良いのかなと思ったのです。
- 竹本公園管理課長 そうですね。その数字的なものが読み取れない資料で、申し訳ございませんでした。
- 石井部会長 やっていないのであれば別なのですが、やっているとすれば、きちんとその数字でも評価できるとより良いのかなと思った次第です。
- 竹本公園管理課長 わかりました。工夫していきたいと思います。
- 増田都市総務課長 この中で例えばモニターだとか、床の清掃機とかを自分たちで用意したというのがありますけれど、そのあたりは考え方としては難しいので、本来は市が球場の設備として用意しない、あるいはそういうものを購入してやるべき、ある意味では市がやるべきものを指定管理者のほうで投資したものとすれば、例えばその数字ということで金額は評価の対象にしてもいいのではないかという、そういうお考えということになるのですかね。その数字でという部分がよく見えないと。
- 石井部会長 そうですね。千葉市が本来出すべきものを outsourcing して済んだということは、プラスに評価していいのではないかと。
- 増田都市総務課長 ただ、形的には物が固定資産に近いものであれば、それは逆にいうと、先ほどの善積先生が見ていただいた、会社の固定資産の中の減価償却とかが入っていくという、すごく難しい切り口もあるので、その辺りがどう捉えたらいいのかなということが少しあります。

例えば、整備してもらったものといって、モニターが103台だとかというものは出てくるけれど、それを本来は市が整備すべきものだったのかどうかと。いや、要らないのだけれど、余計なサービスをしたからそれを評価するのかという話にもなるし、例えばスコアボードを改修するのであれば、これはいわゆる高校野球とかでも使うので、これに対して実際ロッテの負担分があるわけなのですが、そういったものであれば全体工事費の幾らをロッテが負担ということではあるのですが、モニターは本当に必要なのか、市がすべきものなのかということになってくると、非常に評価が難しいということではあります。そういうものでよければ、ある程度ロッテが整備してくれたもので、市が負担しなくて済んだものというものは把握できるとは思いますけれど、それで部会長さんのおっしゃられて

いる意味なのかどうかと。

- 竹本公園管理課長 恐らく、この収支表の中に入るといよりも、事業報告の中でそういった取り組みをしているということを報告していただいて、その部分を我々としてご説明していく。
- 増田都市総務課長 一般の評価シートには恐らく入らないと思うのですよ。事業報告の中に、年度の一番最後に、本年度、指定管理者が整備更新した備品のような形で表に出してもらえると、その中に修理とかもありますから、そういう部分で評価するということになるのですかね。
- 石井部会長 善積委員。
- 善積委員 協定書のところには大幅な利益等の還元についての取り決めが入っていますよね。この場合、大幅な利益というのは具体的にどれぐらいのことを言うのかとか、どのような還元の仕方をするのかという、そのあたりの具体的な内容が決まっていないと評価はできないと思います。何か具体的な内容は特にないのですか。管理運営の基準のところでは、今ざっと見たところでは、具体的な記述は無いようですが。
- 石井部会長 谷藤委員。
- 谷藤委員 それを今後整理していく必要があるかと思うのですが、例えばこの6-8の評価資料で、収支状況、(1)過年度の収入・支出状況とありますね。管理経費の縮減に係る取り組みとありますけれど、その前か後かに、黒字になったときの還元みたいな項目として、この収支の表には載らないけれど、こんな形で使っていますということが、ひとまずは箇条書きでも可能な範囲で知ってもらえると、この黒字分がただ単に指定管理者に行っているわけではなく、有効に使えているということが見やすいように思いました。後々はどれぐらいだったぞということは、もしかするとある程度追加が必要なのかもしれません。

きっと事業報告とかで読み取れるのだとは思いますが、この収支のところだけ見ると、いろいろな誤解が生じかねないということが部会長さんの意見だと思うのです。

- 増田都市総務課長 様式はもう指定されてしまっているのです。
- 谷藤委員 そうなんですね。
- 村上都市総務課長補佐 あくまでひな形ではあるので。
- 増田都市総務課長 では、これの工夫をさせていただくように検討させていただきます。
- 公園管理課職員 この利益については球場のためということもありますし、あとはプロ野球球団を運営するためにも使っていますので、そういった運営費などはこういうスタジアム経営が基本的な根幹にある部分なので、そういった面も少し考えなければいけないと。
- 竹本公園管理課長 球団経営自体が必ずしも大きな黒字を出しているわけではないので、ここで上げた部分を球団に戻して、球団運営に使っている。球団がなくなってしまうと全部なくなってしまう話なので、やはり球団の維持ということはとても大切な部分だと思うのです。
- 増田都市総務課長 先ほど善積先生が、球団自体は黒字じゃなくて赤字であると。
- 善積委員 そうですね。営業利益と純利益の段階では。
- 増田都市総務課長 ですから、そこの球団でやっている本体の一部の部分が管理という形でやっているのです。

やはりチームがあるのと無いのとでは、市の持つイメージというか、そういったものが大きく違うので、その辺りに対する支援が何ができるのかといったときに、こういう自主事業で、ロッテが頑張ればロッテにも市として応援してあげられるよと、ある意味では千葉市に夢を与えてくれている分の取り分みたいなことになるのだと思うのですけれど。た

だ、だからそれだけでいいというわけでもないので、先ほどのように返ってくるものは何かというものを示せるかどうか。

○石井部会長 これは収支状況で出てくる平成26年度の収入のところだと、実績として26億円ほどになっているかと思います。損益計算書、平成26年度の、これがどこに入ってくるかという、普通の売上高、営業収支の売上高のところに収入が入っているという理解でよろしいのでしょうか。

○公園管理課職員 確認させてください。

(確認結果)

会計年度の日付のずれはありますが、計上されております。

○石井部会長 この94億円の売上高のうちの26億円がマリスタジアムの指定管理に関するところからだという理解でよろしいのでしょうか。

○谷藤委員 会計年度がずれるからすっきりはいかないのですよね、きっと。

○増田都市総務課長 びたりとはならないですね。ほぼという言い方はできるかとは思いますが、すけれど。

○石井部会長 こちらの収支状況は、年度でいうと4月1日から3月31日、ロッテマリーンズのほうは1月から12月。

○増田都市総務課長 少しずれは出ますけれど、考え方としてはそういうことになると思います。

○石井部会長 善積委員はいいですか。

○善積委員 稼働率にこだわっているわけではないですが、先ほど指摘したところ、6-8の別紙5、利用状況の②稼働率を見ると、平成22年度の79.8%が23年度の計画にほぼなっていて、23年度の実績値と24年度の計画値も92.5%であり、以前は前年度の実績を翌年度の計画にするような方針であると感じましたが、25年度の計画値から何か方針が変わったのかなと思いました。

○石井部会長 ここは何か理由があるのでしょうか。

○公園管理課職員 すみません、確認させていただきます。

(確認結果)

23年度、25年度、26年度は提案時の目標値を使用しておりましたが、24年度のみ提案とは別の数字を使っておりました。算出方法としては、365日から休場日、保全日を除いた日数を分母とし、そのうち想定利用日数を分子として計算しております。

○石井部会長 では、その他、最後になりますけれど、(2)次期指定管理者の選定に向けての意見ということで、ご意見、ご助言、あるいはまたご質問等あればよろしく願いたします。

谷藤委員、お願いいたします。

○谷藤委員 26年度のときと余り変わらないのですが、いわゆる利用者と来場者と双方へのサービスをたくさんしてもらおうということと、サービスの対象をファンだけではなく幅広く広げるような方策を練って欲しいと思います。

○石井部会長 善積委員、何かありますでしょうか。

○善積委員 先ほどと同じですので、特にありません。

○石井部会長 意見と確認の質問なのですが、この前視察に行ったときに、シートなど新しくきれいになっていたかと思うのですが、あれは指定管理者の支出できれいにしたわけですか。

○竹本公園管理課長 シートは何カ所かあるのですが、内野のシートにつきましては千葉市のほうで交換しています。それから、その内野のシートの一部分ですね、ちょっと特殊な

仕様になっている、グレードアップした仕様になっているところがあるのですが、そういったものについてはロッテのほうでやっております。

- 石井部会長 そのロッテが行ったものについて、市の財産になるのでしょうか、それともそこはロッテのものということに。
- 竹本公園管理課長 いじってあるものについては、終わった後に原状復旧していただくということになっていますので、加工されたものについてはロッテのものということになっています。
- 石井部会長 ありがとうございます。
- 谷藤委員 だから、ここに載らないということなのですよ。支出のところに入らないということですよ。
- 増田都市総務課長 直したところは。例えば、一番前だけテーブルをつけるとか、売れるように、少し値段が高くできるようにという工夫をしているとすれば、それはロッテのものですけれど、もしロッテが撤退するのであれば、それは元に戻してくださいねということなので、そのかかった費用は計上されない。
- 石井部会長 モニターも同じことですか。
- 増田都市総務課長 そうです。
- 石井部会長 撤退するときには外して。
- 竹本公園管理課長 あるいは、市に寄附するとか。
- 増田都市総務課長 その時点で決めるしかないですね。だから、先ほど言ったように、それは市で本当に必要なのかという部分があるので、例えばスクリーンを外して持っていきますよということは、それはまずないでしょうということからすると、それは市へ還元される、負担分はやってくれるからそれはいいのですが、では、さっき言ったモニターだとか床清掃機などはどう評価するのということが、そこが難しといえれば難しいので、その辺りがあるので、はい、わかりましたというわけではなく、どうできますかねといった部分ではあるのです。もらえるのであればもらってもいいのですが、古くなったものをもらっても。
- 谷藤委員 逆にお金がかかるかもしれない。
- 増田都市総務課長 そうなのです。だから、その維持管理経費が結構かかって、市は何でももらえばいいという時代ではなくなっているのも事実なのです。何でももらえばいいだろうといっても、そのもらったものが修理経費がかかるのであれば、では、それは逆にロッテに持って行ってもらって、ロッテが維持管理してもらったほうがいいのかというものは事実で、そこがどうするかと。
- 石井部会長 そうすると、その次期指定管理者の選定に向けては、数字ではあわせないけれども、市民サービスとか利用者に向けてのサービスの向上が図れるようなものを、どうやって評価、数字ではないのだけれど、評価、それから選定のときに考慮できるか、どうやってあらわしていくかというところを少し検討していただければと思います。
- 増田都市総務課長 評価ですね。
- 石井部会長 そうですね。この総合評価の中で見ていくと、例えば市民サービスの向上の中で、企画シート、モニターの設置、球場の美化とか、言葉としては出てくるのですが、それが具体的にどうだったのかということもわかるようにしたほうがいいのかなど。でも、そういったところで利益の還元等を指定管理者がどう考えていきますよというものも、今後の選定のときには明らかにしていただけるといいということと、それからサービスをするということで、対象として利用者なのか来場者なのか、その来場者もプロ野球、ロッテが関係するところとそうではないイベントがあると思うので、その辺りも区別してモニ

タリングをするとか、サービスを考えるとか、そういったことも次期の指定管理者選定に当たっては考慮していただきたいと思います。

○竹本公園管理課長 はい、わかりました。ご意見等を踏まえまして対応していきたいと思
います。

○石井部会長 これまで出ました意見を部会の意見としますので、よろしく願いいたしま
す。

○善積委員 はい。

○石井部会長 では、以上で、議題（２）「千葉マリスタジアム（QVCマリンフィール
ド）の総合評価」を終わります。

本日の議事は全て終了いたしましたので、これもちまして、平成27年度第1回千葉市
都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しします。

○山下公園緑地部長 本日は、長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。只今
いただきました意見をもとに、今後の施設の管理運営につきましては、より正確に実施し
て参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

○村上都市総務課長補佐 以上をもちまして閉会いたします。お疲れ様でした。